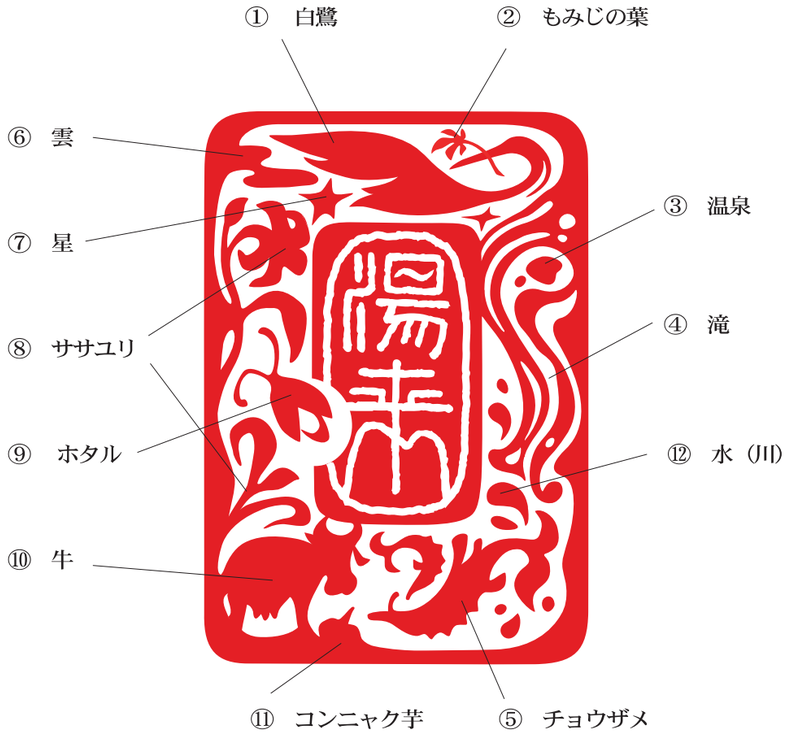


湯来には美味しいもの、綺麗なもの、興味深いものが豊富にあります。湯来ブランドマークには、白鷺、温泉、滝、チョウザメ、ホタル、牛、コンニャク芋など、多様な湯来の魅力を凝縮しています。

「湯来ブランドマーク」基本色

湯来ブランドマークの基本色はDIC：199とします。4色オフセットの近似色として
C：5　M：100　Y：100　K：0を使用してください。また、展開するアイテムによって他の色での再現も可能とします。



基本色はDIC：199
4色オフセットの近似色
C：5　M：100　Y：100　K：0



他の色の1色再現も可能

制作協力

■「湯来ブランドマーク」デザインプロジェクト
アートディレクター：及川久男（広島市立大学芸術学部教授）
クリエイティブディレクター：中村圭（広島市立大学芸術学部非常勤助教・行政課題担当嘱託員）
広島市立大学学生
代表：ナターリヤ・ガリャーシン（協力研究員）、松原由佳（芸術学部研究科2年）
宮内玲奈（芸術学部３年）、甲口由紀（芸術学部3年）



① 白鷺
傷ついた白鷺が湯浴みをしているのを見た村人が発見したと伝えられる湯来温泉。旅館街にある足湯は「白鷺古湯」と名付けられている。

② もみじの葉
秋には湯来の山々は目もさめるような紅葉で染まる。石ヶ谷峡や加下峡など紅葉の名所も多く、朱に染まった散策も楽しめる。



③ 温泉
湯来には、傷ついた白鷺が湯浴みをしているのを見た村人が発見したと伝えられる湯来温泉と、江戸時代に広島藩主、浅野公の湯治場として栄えた湯の山温泉という2つの温泉がある。1991年（平成3年）には、環境庁（現・環境省）から両温泉が保健的利用に適していると「国民保健温泉地」に指定された。

④ 滝
江戸時代、広島藩士で絵師としても活躍した岡 崎山（おか みんざん）の写生旅行の記録「都志見往来日記」にも描かれている多羅多羅の滝や白井の滝など、湯来の奥山には急峻な山々から湧き出る清水を源に大小27もの滝が点在している。



⑤ チョウザメ
チョウザメの卵が世界三大珍味の一つ、キャビア。湯来の清流を使いチョウザメが養殖されており、地元の新たな食材として注目されている。



⑥ 雲
来訪者を心和ませる湯来の山里をゆったりとたなびく雲。春や秋に湯来の山々に登れば、雲海を見ることができる。



⑦ 星
夜空にちりばめられた無数の星。湯来の澄みきった夜空では、四季折々の天体ショーが繰り広げられる。



⑧ ササユリ
旧湯来町の町花であったササユリ。ササユリは人工栽培が難しく、湯来が豊かな自然に包まれている証でもある。



⑨ ホタル
湯来の清流で自然繁殖したホタル。毎年6月下旬～7月上旬にホタル祭りが開催され、幻想的な飛翔が楽しめるほか、昔懐かしい「ホタルかご作り」も体験できる。



⑩ 牛
湯来の南部の丘陵地帯は酪農の郷でもある。ここで製造された乳製品は、地域のブランドとして人気の商品となっている。



⑪ コンニャク芋
湯来特産品として人気のコンニャク。皿に薄く切り盛りした刺身コンニャクは、フグの刺身に似ているところから「山フグ」と呼ばれている。



⑫ 水（川）
湯来を流れる清流「水内川（みのちがわ）」は広島市中心部を流れる太田川（一級河川）の源流の一つで、アユ、アマゴの渓流釣りや川遊びの人気スポットとなっている。また、オオサンショウウオ、カジカ、モリアオガエル、ホタルの生息地でもある。

デザイン要素展開例

デザイン要素の配置および色彩は自由とします。







